

平成 26 年 4 月 11 日

投資者の皆様へ

T & Dアセットマネジメント株式会社

**「野村エマージング債券投信(通貨・代替通貨選択型)」の「毎月分配型」
2014年4月10日決算の分配金について**

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は弊社の投資信託に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社が運用しております「野村エマージング債券投信(通貨・代替通貨選択型)」(以下、「当ファンド」といいます。)につきまして、「毎月分配型」の各コースにおける2014年4月10日決算の分配金を下記の通りご案内申し上げます。

今後ともお引き立てを賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具

<毎月分配型>

第52期分配金 (1万口当たり、税引前)

円コース	豪ドルコース	ブラジルリアルコース	南アフリカランドコース
50円	80円	120円	95円

第32期分配金 (1万口当たり、税引前)

カナダドルコース	メキシコペソコース	トルコリラコース	金コース
60円	80円	120円	50円

第1期分配金 (1万口当たり、税引前)

米ドルコース
50円

分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

詳細につきましては「投資信託説明書(交付目論見書)」の「分配方針」をお読みください。

前月の運用経過

エマージング債券市場は続伸しました(米ドルベース、以下同じ)。2月のウクライナの政変を受けたロシアのクリミア併合強行、米欧の対ロシア制裁発動といった地政学的リスクの高まりに加え、成長鈍化観測が強まる中国で初めての社債のデフォルト(債務不履行)が発生するなど、不安材料の多い月となりました。しかし、昨年5月以降、たびたび相場急落に見舞われてきた投資家の反応は冷静なもので、むしろ、ロシア情勢の一層の深刻化が進んでいないことや、中国の政府当局による様々な対策の可能性などを理由に、月末にかけて買い増しの動きが強まりました。米ドル建てエマージング債券市場(参考指数:JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド、以下「米ドル建て債」)の米国債に対するスプレッド(利回り格差)は前月に続いて縮小し、また、多くの新興国通貨が米ドルに対して上昇したことから、現地通貨建てエマージング債券市場(参考指数:JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド)は米ドル建て債を上回る上昇となりました。国別でも、リスク選好度の高まりが反映され、相対的にリスクが高いとされる国の債券の上昇率が高くなりました。

ポートフォリオは米ドル建てでプラスの収益率となりました。ロシアやインドネシアの米ドル建て国債のほか、ガスプロム(ロシア/エネルギー)の米ドル建て社債の組み入れなどがマイナスに作用したものの、メキシコの米ドル建て国債のほか、ギリシャのユーロ建て国債やスロベニアの米ドル建て国債の組み入れなどがプラス要因となりました。

当月の投資行動では、イラクやロシア、ベラルーシの米ドル建て国債の一部売却などを実施しました。一方で、アルゼンチンの米ドル建て国債を新規に購入したほか、メキシコやトルコの米ドル建て国債の追加購入などを実施しました。月末時点でのポートフォリオは、国別では、メキシコやインドネシア、ロシア、スロベニア、ギリシャなどの比率が上位となりました。

当月は、新興国に関連した様々なイベントが起きたうえ、米国の利上げ開始時期の見通しが早まったにもかかわらず、エマージング債券市場はそれほど否定的な反応を見せませんでした。昨年5月以降続いてきたエマージング市場の劣後局面が終焉を迎えたかどうか、判断するには時期尚早ですが、全般的な割安感もあり、投資家のエマージング市場選好度が回復に向かい始めたとしてもおかしくはないと考えられます。ポートフォリオでは、ファンダメンタルズが相対的に良好で、政府が構造問題への対処に取り組んでいるメキシコや、新興国と同様の問題への取り組みが続く一部のユーロ圏周辺国の国債などを引き続き重視している一方で、これまでの価格下落により投資妙味が高まったと判断した債券を選別的に増やし始めています。

当ファンドの各コースが投資対象としている「エマージング・マーケット・デット・ファンド」(ケイマン籍外国投資信託)は2014年3月末現在でエマージング債券の組入数は184銘柄、債券の組入比率は90.8%となっております。

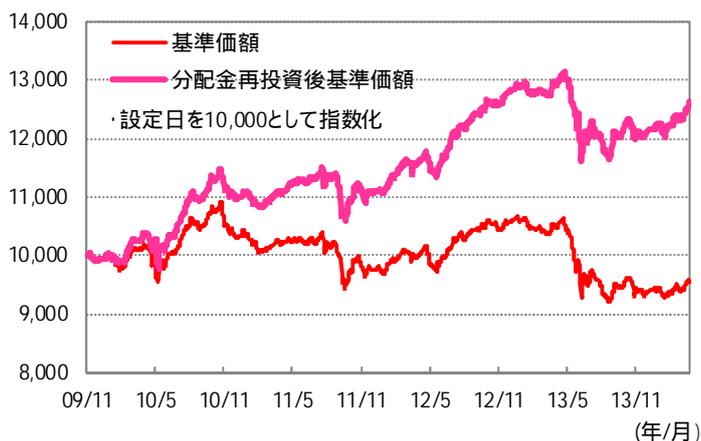
出所:キャピタル・ガーディアン・トラスト・カンパニー

基準価額の推移 (設定日～2014年4月10日)

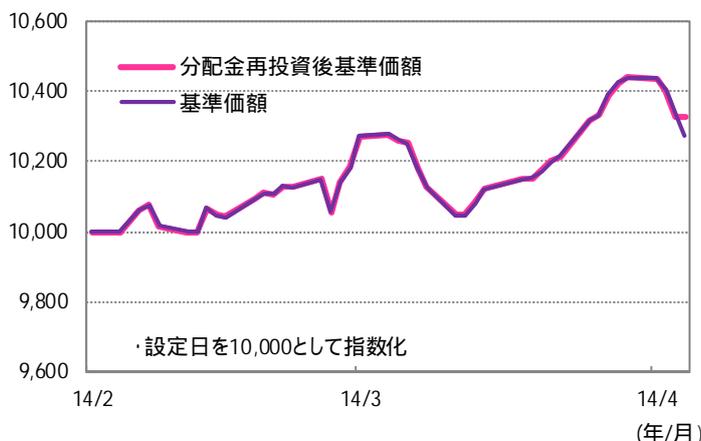
「分配金再投資後基準価額」の推移は税引前分配金を全額再投資したものと計算しているため、実際の受益者利回りとは異なります。基準価額は信託報酬控除後です。

円コース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコースの設定日は2009年11月17日、カナダドルコース、メキシコペソコース、トルコリラコース、金コースの設定日は2011年8月10日、米ドルコースの設定日は2014年2月7日です。

円コース(毎月分配型)



米ドルコース(毎月分配型)



豪ドルコース(毎月分配型)



[直近5期の分配実績]

	決算日	分配金
第48期	2013/12/10	50円
第49期	2014/1/10	50円
第50期	2014/2/10	50円
第51期	2014/3/10	50円
第52期	2014/4/10	50円
設定来		2,800円

1万口当たり、税引前

2014/4/10

基準価額	9,556円
純資産総額	65.0億円

[直近5期の分配実績]

	決算日	分配金
第1期	2014/4/10	50円
第2期		
第3期		
第4期		
第5期		
設定来		50円

1万口当たり、税引前

2014/4/10

基準価額	10,275円
純資産総額	0.4億円

[直近5期の分配実績]

	決算日	分配金
第48期	2013/12/10	85円
第49期	2014/1/10	80円
第50期	2014/2/10	80円
第51期	2014/3/10	80円
第52期	2014/4/10	80円
設定来		4,700円

1万口当たり、税引前

2014/4/10

基準価額	10,487円
純資産総額	65.8億円

ブラジルリアルコース(毎月分配型)



[直近5期の分配実績]

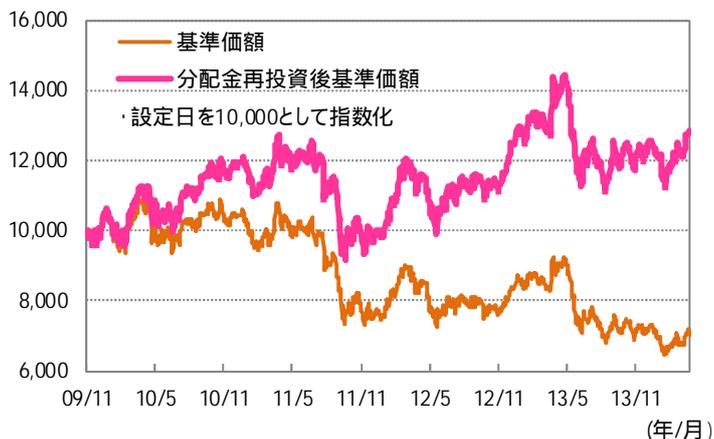
	決算日	分配金
第48期	2013/12/10	120 円
第49期	2014/1/10	120 円
第50期	2014/2/10	120 円
第51期	2014/3/10	120 円
第52期	2014/4/10	120 円
設定来		6,540 円

1万口当たり、税引前

2014/4/10

基準価額	6,437 円
純資産総額	690.8 億円

南アフリカランドコース(毎月分配型)



[直近5期の分配実績]

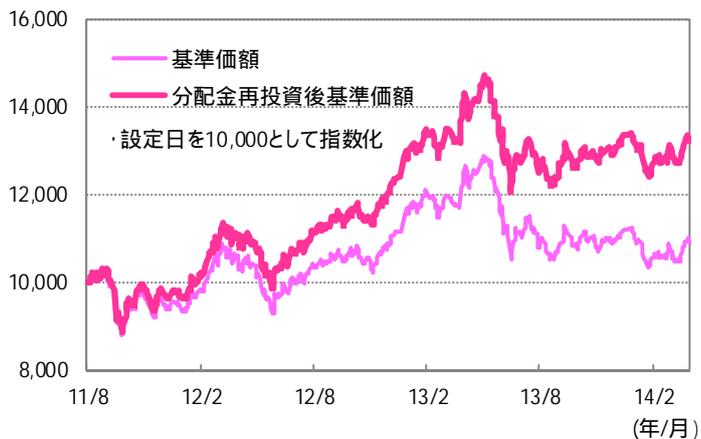
	決算日	分配金
第48期	2013/12/10	95 円
第49期	2014/1/10	95 円
第50期	2014/2/10	95 円
第51期	2014/3/10	95 円
第52期	2014/4/10	95 円
設定来		5,165 円

1万口当たり、税引前

2014/4/10

基準価額	7,041 円
純資産総額	3.1 億円

カナダドルコース(毎月分配型)



[直近5期の分配実績]

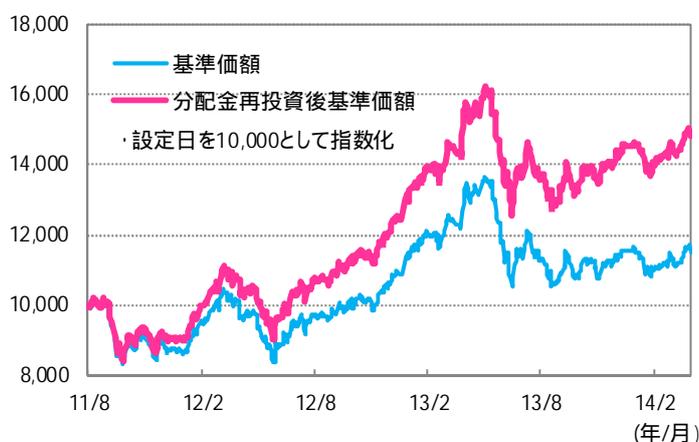
	決算日	分配金
第28期	2013/12/10	60 円
第29期	2014/1/10	60 円
第30期	2014/2/10	60 円
第31期	2014/3/10	60 円
第32期	2014/4/10	60 円
設定来		2,125 円

1万口当たり、税引前

2014/4/10

基準価額	10,863 円
純資産総額	5.6 億円

メキシコペソコース(毎月分配型)



[直近5期の分配実績]

	決算日	分配金
第28期	2013/12/10	80 円
第29期	2014/1/10	80 円
第30期	2014/2/10	80 円
第31期	2014/3/10	80 円
第32期	2014/4/10	80 円
設定来		2,720 円

1万口当たり、税引前

2014/4/10

基準価額	11,464 円
純資産総額	221.2 億円

トルコリラコース(毎月分配型)



[直近5期の分配実績]

	決算日	分配金
第28期	2013/12/10	120 円
第29期	2014/1/10	120 円
第30期	2014/2/10	120 円
第31期	2014/3/10	120 円
第32期	2014/4/10	120 円
設定来		4,080 円

1万口当たり、税引前

2014/4/10

基準価額	9,855 円
純資産総額	107.4 億円

金コース(毎月分配型)



[直近5期の分配実績]

	決算日	分配金
第28期	2013/12/10	50 円
第29期	2014/1/10	50 円
第30期	2014/2/10	50 円
第31期	2014/3/10	50 円
第32期	2014/4/10	50 円
設定来		1,600 円

1万口当たり、税引前

2014/4/10

基準価額	6,740 円
純資産総額	21.2 億円

分配方針(毎月分配型)

毎月10日(該当日が休業日の場合は翌営業日とします。)に、原則として、以下の方針に基づき収益の分配を行います。

分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益等の全額とします。

分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益を中心に安定分配^(注)を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益(評価益を含みます。)が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。また、5月および11月の決算時(金コースについては、2月、5月、8月および11月の決算時)には、基準価額水準等を勘案し、上記安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

ただし必ず分配を行うものではありません。

収益分配に充てず信託財産に留保した利益については、運用の基本方針にしたがって運用を行います。

(注)「原則として、利子・配当等収益を中心に安定分配を行う」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意下さい。

販売会社の名称等

販売会社		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号				

加入協会に 印を記載しています。

当資料はT & Dアセットマネジメントが投資者の皆様への情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

ファンドのお申込みに際してのご留意事項

以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているリスクを要約したものです。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による利益および損失は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

ファンドの基準価額の変動要因となる主たるリスクについて

<各ファンド(マネープールファンドを除く)>

「債券価格変動リスク」「カントリーリスク」「為替変動リスク」「金価格変動リスク」

<マネープールファンド> 「債券価格変動リスク」

基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

分配金に関する留意点

- ・ 分配金は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。したがって、分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・ 投資者の購入価額(個別元本の状況)によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻りに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり量が小さかった場合も同様です。
- ・ 分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金支払後の純資産は分配金相当額が減少し、基準価額が値下がりする要因となります。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時に負担いただく費用

購入時手数料	購入価額に対して 上限 3.24%(税抜 3.00%) (マネープールファンドの購入はスイッチングによる場合のみとします。)
--------	--

スイッチング時に負担いただく費用

スイッチング時手数料	購入価額に対して 上限 1.62%(税抜 1.50%) (マネープールファンドへのスイッチングには手数料はかかりません。)
------------	---

換金(スイッチングのための換金を含む)時に負担いただく費用

信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。(マネープールファンドには信託財産留保額はかかりません。)
換金手数料	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	毎日、各ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額 各ファンド(マネープールファンドを除く): 年 0.9504%(税抜 0.88%) 実質的にご負担いただく信託報酬率 : 年 1.7004%(税抜 1.63%)程度 (信託報酬に、ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加えた概算値) マネープールファンド : 年 0.594%(税抜 0.55%)以内
その他の費用・手数料	【監査報酬】毎日、各ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額 各ファンド(マネープールファンドを除く): 年 0.00864%(税抜 0.008%) マネープールファンド : 年 0.0054%(税抜 0.005%) 【その他】証券取引に伴う手数料等をファンドでご負担いただきます。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。

上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。